

CCアンダー

(一般名 ポリマーセメントモルタル系可とう性下地調整材)

- 特長

- ポリマーセメントモルタル系の可とう性下地調整材です。
- ローラーでもコテでも施工が可能です。
- 高強度繊維により柔軟性と強靱性があり、コンクリートのひび割れに追従します。
- コンクリートの中性化を抑制します。

- 一般的性状

項目	内容
外観	粉末
主成分	セメント、珪砂

- 施工仕様 (例)

工程		材料・その他	希釈割合 (質量比)	塗付け量 (kg/m ²)	工程間隔時間
1	素地調整	十分に乾燥させる。 汚れ・付着物・突起物等を除去する。 浮き、硬化不良、その他の脆弱部分を補修する。			
2	下地調整	CCアンダー	100	0.1	2週間以上
		水	0～10	－	
2	下塗り	サンクラシープライマー	100	0.05～0.1	4時間
3	上塗り (1回目)	CCヒーロー	100	0.08～0.12	4時間
		水	0～10	－	
4	上塗り (2回目)	CCヒーロー	100	0.08～0.12	16時間
		水	20～30	－	

- 推奨施工器具

下地調整：コテ、多孔質ローラー（砂骨ローラー）等

下塗り：スプレー、刷毛、ローラー等

上塗り：スプレー、刷毛、ローラー等

- 注意事項

- ① 工程間隔時間は次工程の塗装を行うために必要な最低限度の時間です。この時間を経過した後に次工程に入ってください。なお、工程 5 の工程間隔時間は最終養生時間です。

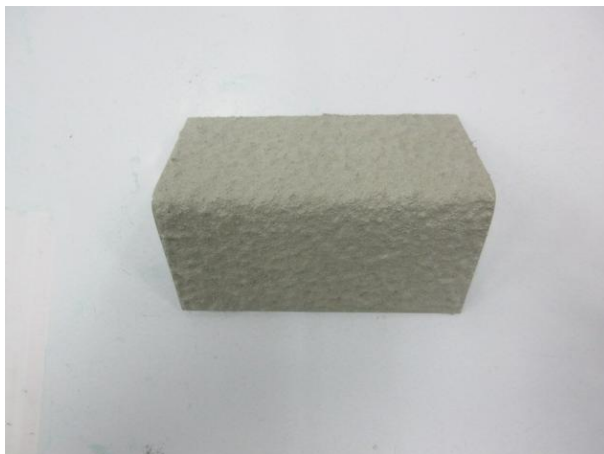
- ② 塗装から乾燥までの温度は 5℃以下としないようにしてください。同様に、湿度は 80RH% 以上としないようにしてください。
- ③ 開袋後は当日中に使い切ってください。翌日使用はしないでください。
- ④ 24 時間以内に降雨降雪が予想される場合は施工を避けてください。
- ⑤ 保護メガネ、保護手袋等の保護具を着用して取り扱ってください。
- ⑥ 使用前に最新の安全データシート（SDS）をご確認ください。
- ⑦ ホルムアルデヒド発散建築材料として使用制限を受ける塗料は「ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を使用したもの」に限られます（国土交通省告示第千百十三号）。本製品にはこれらの対象物質を使用していません（F☆☆☆☆相当）。

● 技術データ

試験項目	試験方法	試験規格	結果
軟度変化	JISA6916 に準拠	-20～20	合格
耐ひび割れ性	JISA6916 に準拠	ひび割れない。	合格
耐衝撃性	JISA6916 に準拠	ひび割れ及び剥がれがない。	合格
吸水量	JISA6916 に準拠	1g 以下	合格
透水性	JISA6909 に準拠	0.5ml 以下	合格
可とう性	JISA6909 に準拠	ひび割れないこと	合格

注）上記の数値は代表値であり、製品の規格値ではありません。

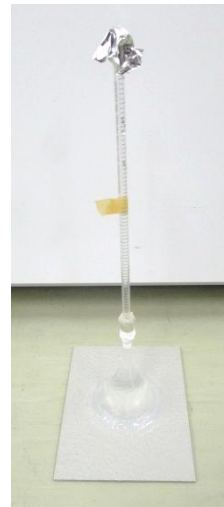
● 可とう性



90°に折り曲げてもひび割れは発生しません。

● 透水性（JISA6909 透水性 B 法）

供試材料	試験結果
C C アンダー	0.16 ml
	0.12 ml
	0.10 ml
平均	0.13 ml



写真：透水性試験の様子

1. 本資料の内容は予告なく変更する場合がございます。最新の情報は弊社 HP
[（https://www.chemicalco.jp）](https://www.chemicalco.jp) でご確認ください。
2. 本資料に記載された事項は、細心の注意を払って行った試験に基づくものですが、実際の現場作業の結果をすべて確実に保証するものではありません。また、使用上の特許等の権利抵触のないことを保証するものではありません。
3. 当社の製品は、一般工業向けに開発・製造された化成品です。人体に摂取される用途には使用しないでください。

本社

〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵三丁目 25 番 32 号

メーカー部門（営業）

〒486-0827 愛知県春日井市小木田町 277

Tel : 0568-89-5507 Fax : 0568-89-5509

企業 H P <http://www.sansho-inc.co.jp>

製品情報 <https://www.chemicalco.jp>